

河内地域



1 将来像

豊かな自然と空港や鉄道等の交通利便性を活かした
ゆとりと活力のあるまち

2 主要な施策の方向性

本地域においては、将来を見すえ地域の活性化を目指すために、この地域の強みである広島空港、河内IC、JR山陽本線などの交通機関の集積と豊かな自然が共存している地域特性を踏まえたまちづくりが必要です。また、地域内で経済を循環させることで、地域を持続的に活性化させる必要があります。そのためには、空港周辺に隣接する未利用公有地を活用した産業団地の整備、地域内企業間の連携支援による経営改善、地域拠点における生活支援及び住民交流機能の充実、定住人口の増加対策、子育て・教育環境の充実、空き家の利活用の促進、農業の収益性向上のための生産基盤の整備や省力化の推進など様々な取組みを推進していく必要があります。



3 令和8年度に実施する主な事業

河内地域

豊かな自然と空港や鉄道等の交通利便性を活かした
ゆとりと活力のあるまち

持続的な地域の活性化

- ・特定地域づくり事業協同組合制度を活用した
新たな働き方の創出(886万円) ※
- ・入野地域センターの大規模改修(7,058万円)
- ・地域おこし協力隊の配置(634万円)
- ・県営産業団地の整備促進

子育て・教育環境の充実

- ・小中一貫教育の推進(93万円)



入野地域センター

「※」は福富地域、豊栄地域及び河内地域を対象とする事業

入野地域センターの大規模改修

市民協働のまちづくりを推進するため、地域センター等を住民自治協議会及び生涯学習の活動拠点として整備・充実させるとともに、大規模改修により長寿命化を図る取組みを実施しています。

老朽化した入野地域センターについて、現在外壁等改修工事を実施しており、令和8年度に完了する予定です。



工事前



工事状況